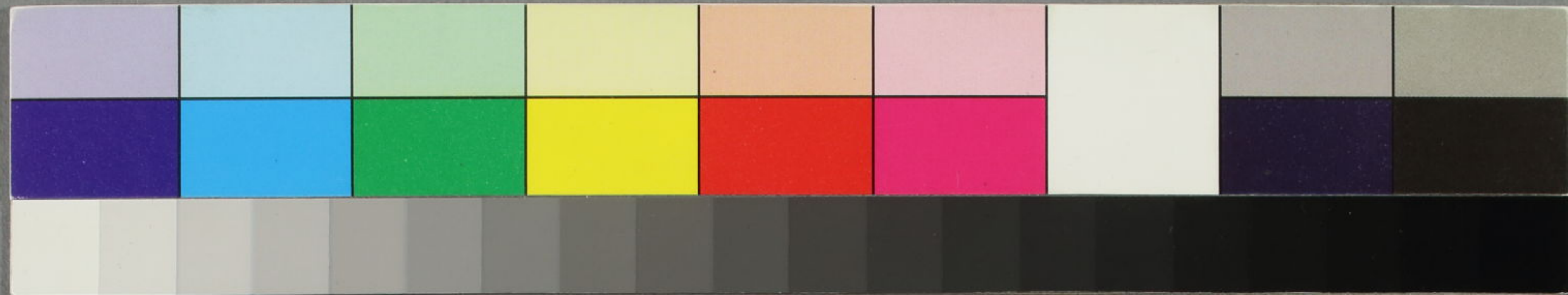


Vertical title slip with faint, illegible characters, possibly in Japanese or Chinese.

特別
千13
3849
23





13
3849
23

23

後者志意落 藝品定

京之巻目錄

真々巻子

真々巻子よき

りし重ぬ極ぞ甲は深割

ぬりの巻巻乃沖竹

とりてなるか

巻列の能

かたたる巻と見

子朝の横後



口よりふよびみのかし

虫海の葉入ら

結び目よ意ある

あか形乃りしり帯

中れある舞臺衣おれ

かきひのふま坊は葉を

時代の香箱

花車形乃

龍の綴色

のびて来る

金銀は去意

三室よかざら

蓬菜は仔細海老

美赤分歌後乃

形つしむ

は名のある

金席は極彩色

白眼あま

虎乃物ひ

料紙はた

紺ねまき

大蛇附乃引合

東二五二病想波者目錄

糸代早雲長史更注中沢村公之帝
糸代布袋松栴堂更注中深松雲次帝

○見立榮りよまろ式

^{熱巻}上吉 斤田仁丸門 尺貫

けんと切若の尺貫の教書也

上吉 市川園 彦 ^{深松}

かめがりとはより系中がゆ合

上吉 深松七三帝 ^{尺貫}

さしてても五分のあゝ丸全

上吉 坂田茂十帝 ^{尺貫}

さこやうとさよらお 蓋

上吉 栲山臣良三帝 ^{深松}

さよら判かまのの末

上吉 三株大又帝 ^{尺貫}

あふんをへけさるるの尺貫

上吉 坂東助三帝 ^{深松}

さかたしとさすの尺貫

上吉 尾上彼右帝 ^{尺貫}

さあつとあつる尺貫

上吉 坂東満彦 ^{深松}

さうさつとさつらとさつと

上吉 中村正彦 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

上吉 尾三又帝 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

上吉 小倉山千右帝 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

上吉 小笠川安孫 ^{深松}

さかたしとさつらとさつと

上吉 上村新十帝 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

上吉 中村久又良 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

上吉 栲山小川帝 ^{尺貫}

さかたしとさつらとさつと

巻編

六五

▲実徳之部

上上吉 今村七三郎 保松丸

何後でも志ゆい外

上上吉 桐乃儀左衛門 保松丸

此女の仕内なる中一

▲歌後之部

上上吉 深川比云傍 保松丸

たそがわのついでと

上上吉 松平友十郎 保松丸

歌必と池とせり

上上吉 中村新四郎 保松丸

先ろめくみ幅のあつ

上上 佐川律又郎 保松丸

辰切のりでもよめぬ

上上 山本七蔵 保松丸

又しとわろくおん

上上 八沢宗右衛門 保松丸

はたのうしとまといあ

上上 澤山友彦 保松丸

又陣遊のあまう

上上 芳田八益 保松丸

上上 市川繁蔵 保松丸

▲乃介形之部

上上吉 長岡彦九郎 保松丸

名とびろくかうい

上上 芳沢四郎 保松丸

上上 小佐川平蔵 保松丸

▲花車形之部

上上吉 氏持千寿 保松丸

位あけを下の彼の

上上吉 佐藤川指七 保松丸

あといそりさこ

▲あ女形之部

上上吉 嵐小六 保松丸

さういふても虫打の

上上吉 芳沢崎之助 保松

上上吉 中村久米吉 日社

上上吉 沢川市之丞 日社

上上吉 柳山に邊る市 日社

上上 玉村弁之助 日社

上上吉 久米吉三市 保松

上上 中村徳三市 日社

上上 佐藤川惣吉 日社

上上 沢村五右衛門 日社

上上 藤塚卯之吉 保松

上上 尾上富榮 日社

上上 保松吉次市 日社

上上 藤川常次市 日社

上上 佐藤川十吉 保松

上上 尾上小作三 日社

上上 三保本七右衛門 日社

上上 一尾上徳次市 日社

上上 一尾上徳次市 日社

上上 一尾上徳次市 日社

今度は中村の御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

今度はおまの御事

一嵐 桑松大立 保松者以弁がなめ
一桑松谷印の松りや

▲み元形之部

上上書 小倉山万之部 保松

先仕出がらひさうの沈田屋

上上書 桑松谷松之部 保松

西松小あそのの二河柳

▲子後之部

羅馬 難波平之部 保松

菫目 大和山仙 柳 保松

丸勝日 萩屋 惣去 日元

向建 桑松若いせの 日元

実歌 笠谷又九部 保松

歌後 中山平十部 日元

桑松 佐藤川場を良 保松

日元

のこ

○後作の同題集巻のの巻は自其記

林の所集は桑松大立 保松者以弁がなめ

知あまの桑松ののて 保松者以弁がなめ

まの桑松ののて 保松者以弁がなめ

も桑松ののて 保松者以弁がなめ

まの桑松ののて 保松者以弁がなめ

白の桑松ののて 保松者以弁がなめ

の桑松ののて 保松者以弁がなめ

桑松ののて 保松者以弁がなめ

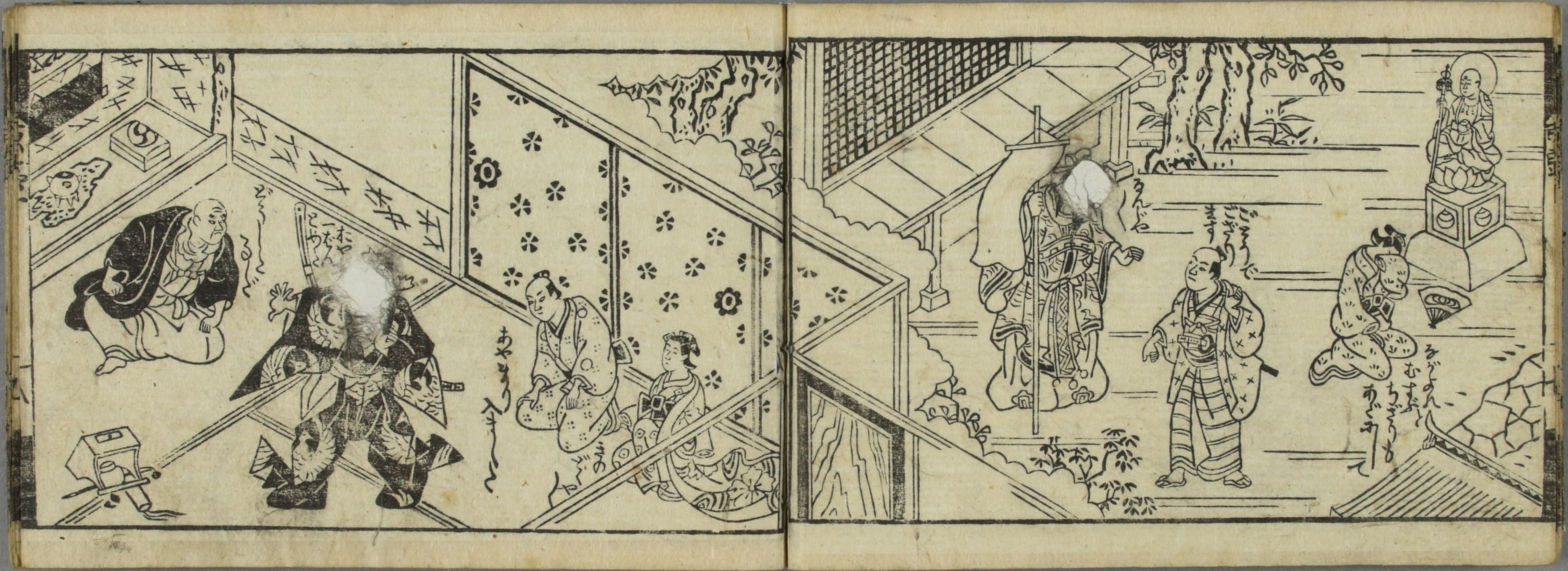
桑松ののて 保松者以弁がなめ

桑松ののて 保松者以弁がなめ

桑松ののて 保松者以弁がなめ

桑松ののて 保松者以弁がなめ

桑松ののて 保松者以弁がなめ



いれ又も教行のふたりの教を中と名え

切實の言をいふなりと云ふなり **百部書** 教

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

百部書 いふ方大徳のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

と云ふ中にも教行のふたりの教を中と名え

大目黒國入 座

五月の十日
小金田千太郎

中村村長



龍脚



尾上
教長



今川
長子



おふく千太郎

坂田
後十年



あやえの
布



あやの
片



桐島
後十年



あやの
片

金丸



三條
大天布



山内
村長

有武家道楽殿
十一月
深松彦
三五



とらふ
とらふ
とらふ



吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八



吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

吉八
吉八
吉八

今更中の之を... 徳を... 言え

上上吉 中村 正隆 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

又吉 尚頼 名もつる... 徳松

上上 小倉山守之師 以村丸

及向 小倉山守之師 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

上上 小波川舟跡 深松丸

及向 小波川舟跡 深松丸 深松丸

深松丸 深松丸 深松丸 深松丸

深松丸 深松丸 深松丸 深松丸

深松丸 深松丸 深松丸 深松丸

上上 上村丸十師 以村丸

及向 上村丸十師 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

上言 由 柿山小波川 以村丸

及向 柿山小波川 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

以村丸 以村丸 以村丸 以村丸

大坂本で海潮よりくたさるるを後京に
よると言ふは後京のくたさるるを
三河はなす言と稱すは其の事なり
西に海とて後京の東に物産の多きを
と云ふは其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり其の事なり
又稱すは其の事なり其の事なり其の事なり
其の事なり其の事なり其の事なり其の事なり

▲乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

乃卯形之部

上上 乃卯形之部

乃卯形之部

▲乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

▲乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

乃卯形之部

上上吉 乃卯形之部

方如瓶 生為小作三

日 友長清六節

日 友長小 壹

日 中村兼八節

日 小野川言八節

日 友松二節門

此年 瀬川兼三節

左記も此年と云ふ事候様候に於て
世初室上月十七日及室賀祭候事
食中候様候中候事候に於て
△此年ノ内申事ヤ上ノ一節ノ事
内申事候事候事候事候事候事
本二の事候事候事候事候事
為初之先一三漢ノ伴中申事
敬向ご事候事候事候事候事
之附候事候事候事候事候事

